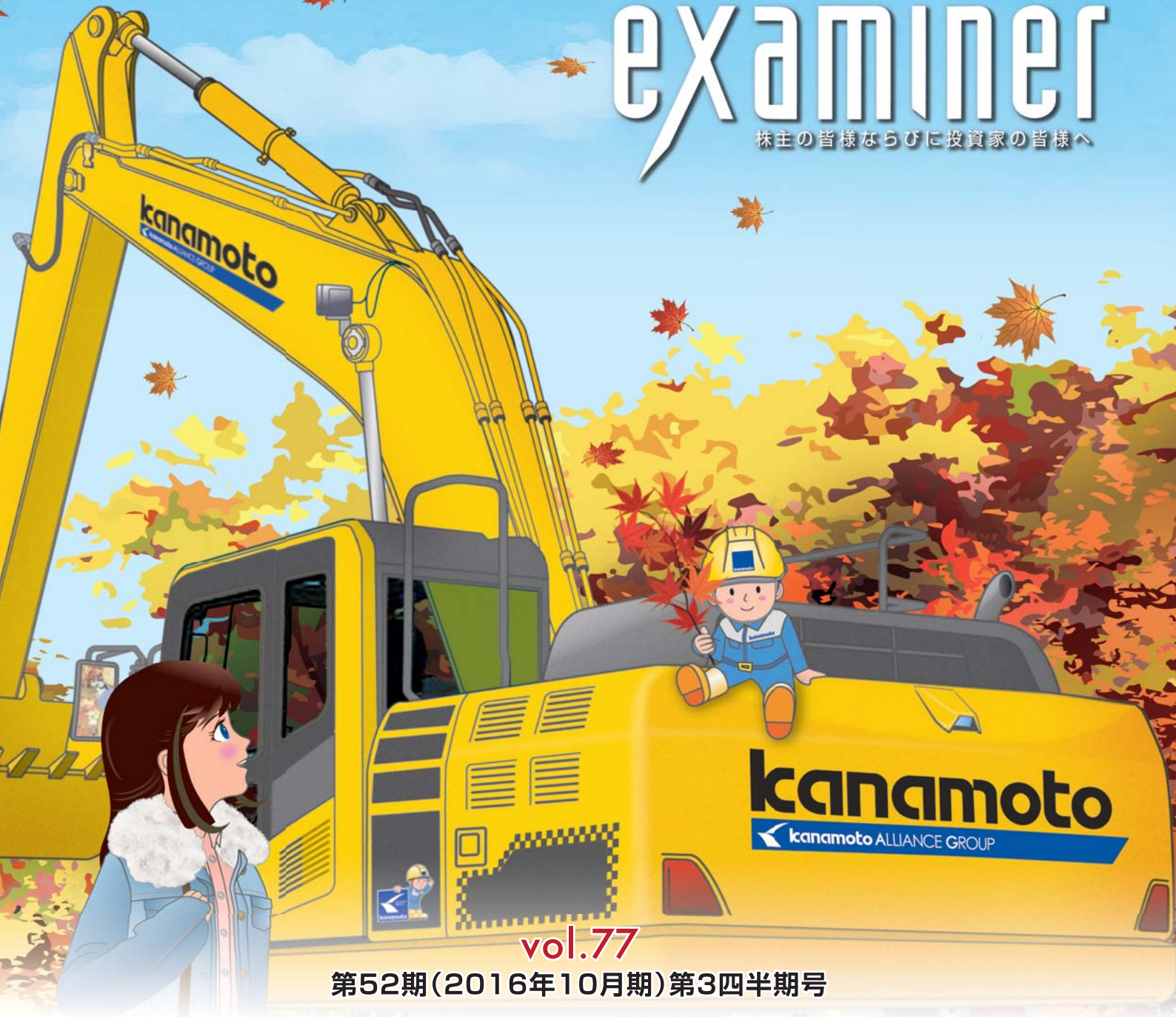


# kanamoto ■ カナモトエグザミネー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.77

第52期(2016年10月期)第3四半期号

## カナモトグループの震災対応：一日も早い復旧・復興に向けて

### 熊本地震 対応力を強化し、復旧作業に努めてまいります。

熊本地震の発生から約半年が経過しましたが、熊本県全体で解体が必要な住宅は約17万棟あり、瓦礫処理についても早急な対応が求められています。また、県内で必要とされる仮設住宅4300戸の建設が10月下旬から11月上旬の完成に向けて進められています。当社グループは(株)ニシケン本社内に設置した対策本部を軸に、グループ企業間の連携強化や経営資源の効率的な配置を行うなど、総力を挙げて復旧支援に努めております。



早急に再開を果たした熊本市電。写真は復旧作業の様子

### 東日本大震災 社会・生活基盤の再建に、引き続き尽力いたします。

「集中復興期間」から「復興・創生期間」へと移行した現在も、市町村による防潮堤建設や幹線道路整備など社会基盤の再建のほか、嵩上げ造成工事をはじめとする「防災集団移転促進事業（高台移転）」などの復興まちづくりも継続して行われています。当社グループは社会インフラとしてのレンタルの使命を果たすべく、引き続き復興支援に尽力してまいります。

### Photo Report 各地で進む復興工事



宮城県岩沼市の五間堀川河川災害復旧工事



岩手県陸前高田市の気仙川の水門新設工事



岩手県陸前高田市の高台造成工事



岩手県大船渡市の盛川道路改良工事



宮城県石巻市の北上川長面築堤工事



宮城県本吉郡南三陸町の復興工事



宮城県牡鹿郡女川町の復興まちづくり事業

# 第52期第3四半期決算の概況 [平成27(2015)年11月1日～平成28(2016)年7月31日まで]

## ●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第52期第3四半期	103,422(4.5)	10,576(△15.4)	10,049(△19.9)	5,889(△21.5)	166.65
第51期第3四半期	98,956(6.8)	12,498(△2.5)	12,546(0.9)	7,499(4.2)	208.08

## ●連結業績予想

第52期通期	143,200(7.4)	14,630(△10.1)	14,100(△12.8)	8,550(△10.5)	241.94
--------	--------------	---------------	---------------	--------------	--------

(注)括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

### [経営環境]

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、これまでの経済政策や金融政策の継続により、景気は穏やかな回復基調で推移しました。しかしながら、新興国の経済減速や、英国のEU離脱の影響による世界経済の減速懸念に伴い株安・円高が進むなど、引き続き留意が必要なる状況でありました。

### [第3四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、民間建設投資は建築・設備投資とともに堅調に推移しました。また、災害復興や東京五輪等に伴う建設需要は強さがあるものの、地方における建設需要はインフラ整備工事などが全体的に着工遅延の状況にあり、弱含みの状態が続いております。今後は徐々に回復の動きがみられると予想されますが、総合的な経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画(平成26年度～平成28年度)の諸施策に基づく重点項目の推進に努め、官民の需要が集中する首都圏等を中心に拠点展開を進めるとともに、成長戦略の一環として新たに「特機エンジニアリング部」を発足させ、同部に「トンネル課」と「水処理課」を設置するなど、国内営業基盤の拡充と拡大に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,034億22百万円(前年同期比4.5%増)となりました。利益面につきましては、レンタル資産等への投資増強に伴う減価償却費の負担増加の影響から、営業利益は105億76百万円(同15.4%減)、経常利益は100億49百万円(同19.9%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億89百万円(同21.5%減)となりました。

### [セグメント別の業績]

#### 建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、東北復興や東京五輪に向けたインフラ再整備を中心に、建設需要は底堅く推移しました。また、(株)ニシケンとの連結組み入れにより、これまで拠点展開の少なかった九州地区で売上が大きく増加しております。なお、当社グループは、熊本県と大分県で発生した地震による災害復旧活動に対応する為、グループ企業との連携強化や経営資源の効率的な配置を行うなど、グループの総力を挙げて現地の復旧支援に対応しております。

なお、中古建機販売につきましては、自社保有レンタル資産の適正な資産構成を維持するため、期初計画どおりの売却に留めたことから、売上高は前年同期比4.0%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は948億30百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は98億72百万円(同17.7%減)となりました。

#### その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連とともに堅調に推移したほか、新たに(株)ニシケンにおける福祉関連事業が加わったことから売上高は85億91百万円(前年同期比20.3%増)、営業利益は3億92百万円(同72.4%増)となりました。

#### [事業所数の増減]

当第3四半期連結会計期間における拠点の新設は中讃営業所(香川県善通寺市)、新庄営業所(山形県新庄市)、山梨南営業所(山梨県南巨摩郡)、柏崎営業所(新潟県柏崎市)、石狩営業所(北海道石狩市)の計5拠点でありました。なお、拠点の閉鎖はありませんでした。

## ■ 連結財務諸表

### 連結損益計算書(累計)

(単位:百万円)	第51期第3四半期 (2014.11.1~2015.7.31)	第52期第3四半期 (2015.11.1~2016.7.31)
① 売上高	98,956	103,422
売上原価	68,116	72,706
売上総利益	30,840	30,716
販売費及び一般管理費	18,341	20,139
② 営業利益	12,498	10,576
営業外収益	558	400
営業外費用	510	927
③ 経常利益	12,546	10,049
特別利益	138	39
特別損失	193	115
税金等調整前四半期純利益	12,491	9,973
法人税、住民税及び事業税	4,473	3,468
法人税等調整額	305	301
四半期純利益	7,712	6,204
非支配株主に帰属する四半期純利益	213	314
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	7,499	5,889

第1四半期連結会計期間から以下の科目について表示の変更を行っており、当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については組替えを行っております。

#### 【連結損益計算書(累計)】

少数株主損益調整前四半期純利益 → 四半期純利益  
 少数株主利益 → 非支配株主に帰属する四半期純利益  
 四半期純利益 → 親会社株主に帰属する四半期純利益

### 連結包括利益計算書(累計)

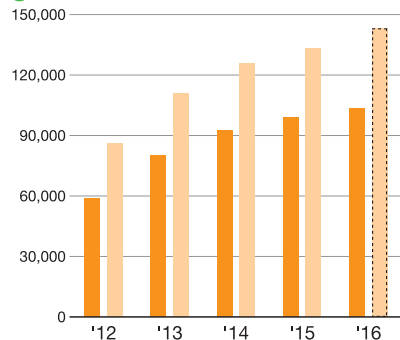
(単位:百万円)	第51期第3四半期 (2014.11.1~2015.7.31)	第52期第3四半期 (2015.11.1~2016.7.31)
四半期純利益	7,712	6,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	436	△ 362
繰延ヘッジ損益	—	△ 0
為替換算調整勘定	12	93
その他の包括利益合計	449	△ 268
四半期包括利益	8,162	5,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,952	5,625
非支配株主に係る四半期包括利益	210	310

#### 【連結包括利益計算書(累計)】

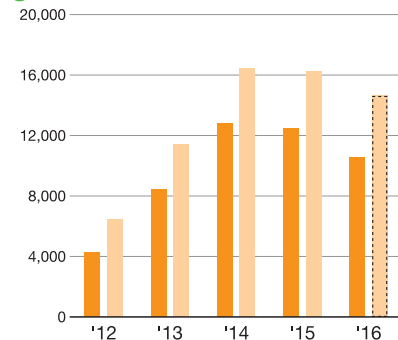
少数株主損益調整前四半期純利益 → 四半期純利益  
 少数株主に係る四半期包括利益 → 非支配株主に係る四半期包括利益

■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

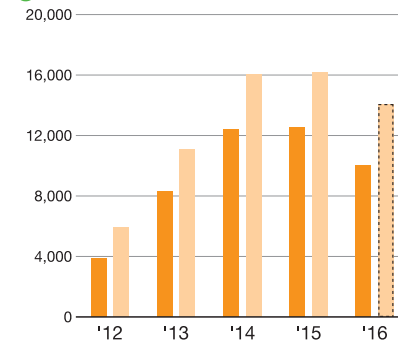
#### ① 売上高



#### ② 営業利益



#### ③ 経常利益



## 連結貸借対照表

(単位:百万円)	第51期第3四半期 (2015.7.31)	第52期第3四半期 (2016.7.31)
(資産の部)		
流動資産	75,749	84,064
固定資産	122,156	134,205
有形固定資産	113,212	124,718
無形固定資産	302	1,072
投資その他の資産	8,640	8,414
⑤ 資産合計	197,905	218,270
(負債の部)		
流動負債	61,273	72,557
固定負債	64,232	67,163
負債合計	125,505	139,721
(純資産の部)		
株主資本	67,611	72,249
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	39,097	45,808
自己株式	△ 56	△ 2,129
その他の包括利益累計額	2,445	1,735
その他有価証券評価差額金	2,414	1,598
繰延ヘッジ損益	—	△ 0
為替換算調整勘定	30	137
非支配株主持分	2,343	4,563
⑥ 純資産合計	72,400	78,548
負債純資産合計	197,905	218,270

## とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で100名様に当社ノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントは、カナモトのオリジナルダイアリー手帳2017年版です。

水に強い塩ビ製の手帳カバーは、エンボスレザー風の仕上がり。深みのあるネイビーと鮮やかなパープルの2色を揃えました。マンスリー・ウィークリースケジュール、集計表タイプのメモページなど中面の機能性にもこだわった使い勝手のよい一冊です。

ご応募の締め切りは2016年11月4日(金) 当日消印有効です。

なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

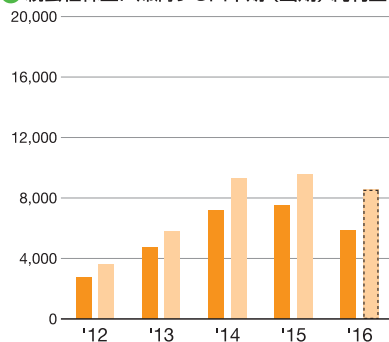
※色のご指定はできませんので、あらかじめご了承ください。



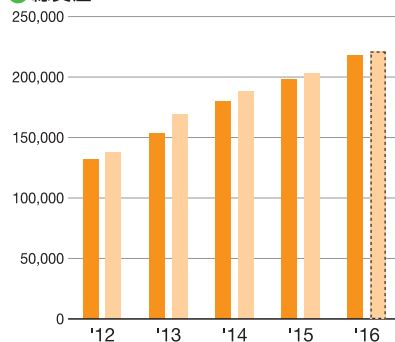
### 【連結貸借対照表】

少数株主持分 → 非支配株主持分

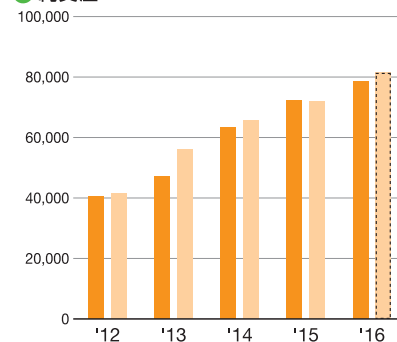
### ④ 親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益



### ⑤ 総資産



### ⑥ 純資産



- 3Q** 2016.5
- IR 札幌証券取引所、東京証券取引所共催 お金のセミナー&会社説明会に参加
  - サンクスフェア2016:北見、九州建産(福岡)を皮切りにスタート
  - 中讃営業所(香川県善通寺市)を開設
- 2016.6
- 新庄営業所(山形県新庄市)を開設
  - IR ラジオNIKKEI 9都市IRセミナー in 長野に参加
  - サンクスフェア in 第一機械産業(奄美)を開催
  - IR 中間配当(1株あたり15円)を取締役会で決議
  - IR 第52期(2016年10月期)第2四半期決算発表
  - サンクスフェア in 横手、in 水戸を開催
  - IR 【東京】第52期第2四半期決算説明会を実施(機関投資家向け)
  - 山梨南営業所(山梨県南巨摩郡)を開設
  - サンクスフェア in 帯広を開催
  - IR ラジオNIKKEI 9都市IRセミナー in 札幌に参加
  - サンクスフェア in 高崎を開催
- 2016.7
- サンクスフェア in 函館、in 袖ヶ浦を開催
  - サンクスフェア in 苫小牧を開催
  - サンクスフェア in 第一機械産業(鹿屋)を開催
  - サンクスフェア in 青森を開催
  - 石狩営業所(北海道石狩市)を開設
  - 柏崎営業所(新潟県柏崎市)を開設
  - IR ラジオNIKKEI 9都市IRセミナー in 高松に参加



- 4Q** 2016.8
- レンタル事業部直轄「特機エンジニアリング部」を新設
  - IR 「JPX 日経インデックス 400」の継続採用銘柄に選定
  - 環境広場さっぽろ2016に出展
  - 2017 冬季アジア札幌大会スポンサーシップ契約の締結について発表
  - IR 日経IR・投資フェア2016に出展(東京ビッグサイト)
- 2016.9
- サンクスフェア in 第一機械産業(鹿児島)を開催
  - IR 第52期(2016年10月期)第3四半期決算発表
  - 代表取締役の異動について発表 **Pickup!**
  - IR ラジオNIKKEI 9都市IRセミナー in 金沢に参加
  - サンクスフェア in 旭川を開催
  - IR ラジオNIKKEI 9都市IRセミナー in 福岡に参加



### Pickup!

既報のとおり2016年9月9日開催の取締役会において、代表取締役を異動することについて決議いたしました。2016年11月1日から、代表取締役社長(執行役員)の金本寛中が代表取締役会長に、取締役(副社長執行役員)の金本哲男が代表取締役社長(執行役員)に就任いたします。カナモトアライアンスグループは、国内外でグループ企業も増加し、拡大を続けている状況です。グループの中核企業として、今後も継続的な成長とともに経営体制の強化・充実を図るため、代表者の若返りを図ります。



現代表取締役社長の  
金本 寛中



次期代表取締役社長の  
金本 哲男

## 会社概要

商号	株式会社力ナモト(英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964(昭和39)年10月28日
資本金	136億52百万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	36,092千株
連結売上高	1,332億92百万円(2015年10月期)
連結従業員数	2,465名(2015年10月31日現在) (役員、嘱託、臨時社員を除く)

## 株主メモ

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日*
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社

\*中間配当につきましては、1株につき普通配当15円の配当を実施する旨、取締役会で決議いたしました。

### 株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 役員

代表取締役社長	金本 寛中*	常勤監査役	金本 栄中
取締役	金本 哲男**		横田 直之
	卯辰 伸人***	監査役	橋本 昭夫
	成田 仁志*		辻 清宏
	平田 政一*		直井 院
	北方 敬一*		曾我 浩司
	磯野 浩之*	執行役員	熊谷 浩
	金本 龍男*		問谷 悟
	長崎 学*		北川 健
	麻野 裕一*		
	椋梨 直樹*		
	橋口 和典*		
	益子 哲郎		
	野上 善弘		
	米川 元樹		

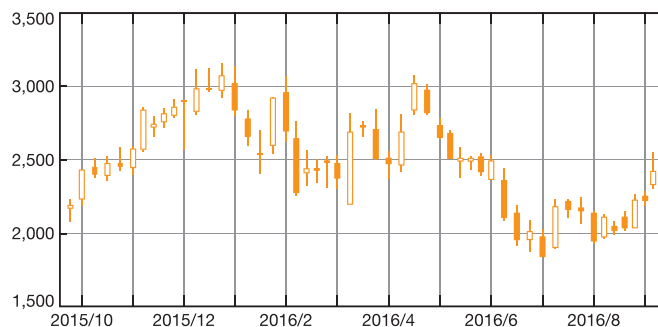
(注1) \*印の取締役は、執行役員を兼任しております。  
(注2) \*\*印の取締役は副社長執行役員を兼任しております。  
(注3) \*\*\*印の取締役は専務執行役員を兼任しております。  
(注4) 取締役益子哲郎氏及び取締役野上善弘氏、取締役米川元樹氏は社外取締役であります。  
(注5) 監査役橋本昭夫氏及び監査役辻清宏氏、監査役直井院氏並びに監査役曾我浩司氏は社外監査役であります。

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。  
ホームページのURLは下記のとおりです。

<http://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>  
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 株価チャート (週足)

単位:円





本誌は、再生紙と  
ベジタブルオイルインクを使用しております。



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19  
Tel:(011)209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7  
Tel:(03)5408-5600

<http://www.kanamoto.co.jp>